



# やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2024. 3. 25号

文責 小西



## 「令和5年度 修了式」

3月22日(金)、令和5年度の「修了式」を迎えることができました。校長式辞の中で、本田勇人校長先生は次のことを述べられました。

### ～ 修了式 式辞 ～

まずもって、今日の修了式を1、2年生のみなさんが一堂に会して、一緒に迎えられたことをともに喜びたいと思います。

ただいま、1、2年生の代表の方に、修了証を授与させていただきました。この「修了証」は、学年の教育課程を修了し、次の学年へ、進級できるということを証明するものであり、卒業証書と同じように大切なものです。みなさん一人一人が、学年の教育課程を修了し、次の学年に進級できることを心よりお祝いしたいと思います。進級おめでとうございます。

さて、3学期のスタートにあたり、みなさんには次のようなお話をしました。

1、2年生は、3年生からの思いを受け取り、最上級生や中堅学年としての責任ある立場としての自覚を深めていくことが求められる期間となります。この実現のために、皆さん一人一人が「より良きもの、より質の高いものを求めよう」「お互いに心を通い合わせていこう」として、「山里中学校を前に、力強く前に、前進させていきましょう。」という願いをしました。

この3学期には、1、2年生ともに、より質の高いものを求め、お互いに心を通わせ合いながら、いろんなことに取り組んでくれました。特に、何といたっても、先日巣立ちの日を迎えた、3年生の卒業式。卒業式に向けての取組、そして、当日の式場での皆さんの姿に、みなさんのすばらしさを感じました。

2年生は、力を合わせて会場設営に取り組んでいただき、体育館の中のもの運び出したり、大変多くの椅子を並べたり、ステージの装飾や紅白の幕を設置したりなど、大掛かりな会場設営に丁寧に取り組む、巣立ちにふさわしい厳格な会場を作り上げてくれました。

1年生は、巣立ちを迎える卒業生が過ごす最後の校舎や教室を細やかに整理整頓したり、清掃活動に取り組んだり、巣立ちゆく卒業生の教室を、それぞれの学級に、テーマをもって、工夫を凝らして飾り付けてくれました。

卒業式では、凛とした静寂の中で、証書を受け取る卒業生一人一人の姿をじっと見守り、盛大な歌声や心のこもった大きな拍手で卒業生の巣立ちをお祝いするとともに、みなさんが心込めた「大切なもの」の歌声、全校生徒で心ひとつにして歌い上げた「校歌」は、聞くものの心を打ちました。

「今までお世話になった3年生、卒業生を心からお祝いして送りだそう。」その思いを、一人一人が、より良きもの、より良き形、より良き表現として、そして、全員で心を通わせ合っの素敵な表現として取りくんでくれたことが大変すばらしかったと思います。このことは、令和5年度の素晴らしい締めくくりとなったとともに、それぞれが、上級学年となる、この4月からのみなさんの活躍が大いに楽しみとなる、そんな出来事でもありました。本当に、ありがとうございます。このような姿勢は、どうか、これからも継続して、「お互いに心を通わせ合っ」「より良きもの、より質の高いもの」をめざしていきましょう。

さて、明日から春休みとなります。とても、短い期間ではありますが、4月からいよいよ次の学年へその活躍の場を移す、新たなスタートとなる、その準備をする大切な期間でもあります。4月からの生活では、皆さんも一つずつ上の学年となり、山里中学校も新たに、これまで以上に、また、皆さんとともに大きく前進していきたいと思っています。

そんな4月からの新しい生活のために、ぜひ、「しっかり備える」ことをお願いしたいと思います。「4月の良いスタートに、備える」。上級生や最上級生になるという「心がまえ」をしっかり持って、「身体」や「体調」も整えて、新たな年度の幕開けに備えてほしいと思います。

一方で、新しい年度を迎えるにあたり、期待とともに、大きな不安を感じている人も多いことだろうと思います。新年度は、新たな出会いと、新たな環境での生活となります。そのことに不安を感じることは誰にでもあることです。

そのような大きな不安を感じることがあれば、どうか、先生方や家族に打ち明けてほしい。そして、その不安をできるだけ小さくして、4月からのよいスタートのための準備としてほしいと思います。どうか、春休みには、新しい年度のスタートへの不安を取り除き、心も体も健康な状態で新学期を迎えてほしいと思います。

では、次にみなさんとお会いするのは、始業式4月8日となります。始業式の日には、新年度への希望と決意にあふれたみなさんとお会いできることを心より楽しみにして、あいさつとします。

令和6年3月22日 長崎市立山里中学校長 本田 勇人



## 生徒代表の言葉

### 1年5組 棕野悠さん

僕たちが成長できるきっかけをくれたのは学校行事でした。特に体育大会や合唱コンクールでは、助け合い、仲間を思いやりながら、一つの目標に共に向かっていく大切さを学びました。課題点は、黙想への取組が悪かったり、授業態度に差があったり、掃除などで注意されることがあったりしたことです。4月からは「先輩」という立場になります。この前卒業した3年生というお手本があるので、その姿を理想とし、成長を止めず、さらにも上を目指していく学年にしたいです。



### 2年5組 永田琉聖さん

この1年間を振り返ってみると、改めてたくさんの思い出と学んだことがありました。2年生での一番の思い出は修学旅行です。そして平和学習などを通して、今ある平和な日常に感謝し、一日一日を大切に過ごすとともに、今出会っている仲間、友達を大切にしたいです。3年生になって頑張りたいことは、①「進路実現」、②「部活動」です。たくさんの思い出と学んだことを力に変えて、新たなスタートを迎えたい。そして、最上級生として、この山里中学校を引っ張っていく自信と誇りをもって頑張ります。



## 退任・離任される先生方です。

職名	氏名	転出校等
教諭	磯野 理恵子 先生	退職
教諭	山口 信一郎 先生	退職
副校長	小西 清明 先生	西海市立西海中学校(校長)
主幹教諭	神門 英樹 先生	松浦市立青島中学校(教頭)
教諭	富永 孝博 先生	長崎市立小江原中学校
教諭	塚原 航太 先生	長崎市立野母崎中学校
教諭	川崎 千晴 先生	長崎市立小ヶ倉中学校
教諭	中川内 正 先生	長崎市立三重中学校
教諭	三浦 剛史 先生	長崎市立片淵中学校
教諭	中島 哲男 先生	長崎市立三重中学校
教諭	山下 浩二 先生	長崎市立西浦上中学校
講師	相良 悦子 先生	長崎市立西泊中学校
養護教諭	尾崎 未奈代 先生	壱岐市立郷/浦中学校
事務主幹	馬場 聖史 先生	長崎市立日見小学校

このたびの人事異動で、多くの先生方が退任・離任されることになりました。

これまで学級経営や、部活動の指導、特別支援教育、生徒や教職員の健康管理、学校事務など、本当にお世話になりました。お元気で！そして、ありがとうございました！！

退任・離任式の様子です。↓  
(お世話になりました！)



「終わりは始まりのとき」とも言われます。4月からの新しいステージに向け、それぞれが「準備」をする期間となります。新入生も入ってきて、これからの山里中学校も楽しみです。始業式は4/8(月)、入学式は4/9(火)です。来年度も、どうぞよろしくお願いいたします！